

# 高度の医療技術の開発及び評価の実績

(様式第11)

19年4月～20年3月

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Asthma 2007; 44: 805-810 (平成19年12月)	Off-line fractional exhaled nitric oxide measurement is useful to screen allergic airway inflammation in an adult population.	Junpei Saito	呼吸器内科
呼吸器科 2007; 11: 575-586 (平成19年5月)	気管支喘息診断と管理における呼気一酸化窒素測定の意義	斎藤純平	呼吸器内科
カレントテラピー 2008; 26: 74 (平成20年3月)	COPD(慢性閉塞性肺疾患)の病態と治療、呼気凝集液のバイオマーカー	斎藤純平	呼吸器内科
Clin Exp Allergy 2007; 37:1334-9 (平成19年9月)	Mannose binding lectin gene polymorphisms and asthma	王新濤	呼吸器内科
Allergol Int. 2008; 57: 1-20 (平成20年3月)	Plasma UGRP1 levels associate with promoter G-112A polymorphism and the severity of asthma	Keiichi Inoue	呼吸器内科
日本内科学会誌 2007; 97: 420-422 (平成 20年2月)	広範な肺・胸膜壊死を伴った劇症型溶血性連鎖球菌感染症の1例	佐藤俊	呼吸器内科
(平成 年 月)			

(注)1当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

小計  
合計175

(様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 竹之下誠一
管理担当者氏名	病院経営課 清野隆彦、医事課 鈴木賢司

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部		一患者一ファイルに整理し、医療情報にて一括整理している。他の診療に関する諸記録も患者個人フォルダー等に収納し一括保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録 従業者数を明らかにする帳簿	病院経営課		業務毎に簿冊に綴じて分類している。
高度の医療の提供の実績	"		
高度の医療技術の開発及び評価の実績	"		
高度の医療の研修の実績	"		
閲覧実績	"		
紹介患者に対する医療提供の実績	"		
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	"		
確規 保則 の第 状9 況条 の 2 及 3 び 第 1 條 の 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理部 感染制御部 医療安全管理部 医療安全管理部 医療連携相談室 医療安全管理部 " " "	

			保管場所	分類方法
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規 則 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の 状 況	院内感染のための指 針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のため の委員会の開催状況	"	
		従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況	"	
		感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善の方策の実施状況	"	
		医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	医薬品安全使 用部会	
		従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	"	
		医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	"	
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善の方策の実施状況	"	
		医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	臨床工学セン ター	
		従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況	"	
		医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況	"	
		医療機器の安全使用 のために必要な情報 の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善の方策の実 施状況	"	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 竹之下誠一
閲覧担当者氏名	病院経営課 清野隆彦
閲覧の求めに応じる場所	病院棟3階 病院経営課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	5 5 . 7 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算	A : 紹 介 患 者 の 数		9, 196 人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7, 495 人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		1, 379 人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数		24, 944 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有)(3名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)(2名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
・所属職員：	
医療安全管理部	専任 (4)名 (医師 1名、看護師2名、事務職1名) 兼任 (4)名 (医師 3名、薬剤技師1名 )
感染制御部	専任 (2)名 (看護師2名) 兼任 (6)名 (医師 3名、臨床検査技師 2名、事務職1名)
・活動の主な内容：	
医療安全推進 院内において発生した医療事故及びインシデント情報の分析と事故防止策の実践 医療安全のための研修 褥瘡対策 院内感染対策	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・指針の主な内容：	
病院内の医療安全管理に関しては、「医療事故防止対策委員会設置要綱」(平成18年4月1日制定、平成20年6月11日最終改訂)及び「医療事故防止マニュアル」(平成12年11月17日制定、平成16年5月12日改訂、平成20年6月11日最終改訂)のほか、「医療安全管理指針」(平成14年11月13日策定、平成20年6月11日最終改訂)を医療事故防止対策委員会で決定している。	
また、平成16年11月12日に「医療事故防止マニュアル」を全員に配布していたが、平成19年度に「医療事故防止マニュアル」の内容を全面的に見直し、「医療安全ポケットマニュアル」を作成して、平成20年4月より医療従事者全員に配布した。	
なお、「医療事故防止マニュアル」は、各部署に2冊配布し、必要に応じ部分改訂・追加を行っている。改訂・追加の際は、各部署に改訂・追加ページを配布のうえ、職員全員に対して、差替え実施確認を行っている。	
医療安全管理指針の項目は次のとおり。	
1 医療安全管理に関する基本的な考え方 2 医療安全管理部の設置 3 医療安全管理のための委員会等 4 医療安全管理のための職員研修 5 医療事故報告等に基づく医療安全確保を目的とした改善方策 6 医療事故等発生時の対応	

7 医療従事者と患者の間の情報の共有

8 患者からの相談への対応

9 その他

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況

年56回

・活動の主な内容：

医療事故防止対策委員会は、昭和59年度に設置され、平成11年度までに5回会議が開催された。

当該委員会で、事故防止の対策等を検討しているが、平成12年9月の委員改選時に、法医学講座の教授を新たに加えたほか、委員の数を8名から14名へ増加し、機能強化を図った。

平成14年6月から、毎月1回委員会を開催し、リスクマネージャー会議の結果やアクシデント報告を踏まえ、事故防止対策を審議している。

委員の任期満了に伴い、平成20年5月から一部委員を改選し19名で審議を行っている。

また、平成12年5月に医療事故防止対策委員会の下部組織として、リスクマネージャー会議を設置した。

当該会議は、副病院長（医療安全担当）を委員長として、事務部長、各診療科（講座の代表）及び各中央部門の副部長、各病棟の看護師長、検査部及び放射線部の技師長、附属病院事務部門の各課長の計75名で構成されており、毎月開催している。

ここでは、インシデント事例の概要報告、評価・分析・改善方策の検討、標語の発表及びアクシデント事例の報告等を行っている。

さらに、平成16年5月に新たに「医療クオリティ審議委員会」が設置され、一定レベル以上の事例について、過失や因果関係の有無、事故防止策の審議を行っている。

このほか、平成16年11月より、毎月、各種医療安全に関する情報の周知確認のため、会議資料等を閲覧した際には、各自サインをし、その確認票を提出することとした。

(医療事故防止対策委員会 開催状況 平成19年度)

19年 4月 11日	19年 10月 10日
19年 5月 9日	19年 11月 14日
19年 6月 13日	19年 12月 11日
19年 7月 11日	20年 1月 9日
19年 8月 8日	20年 2月 13日
19年 9月 12日	20年 3月 11日

計12回

(リスクマネージャー会議 開催状況 平成19年度)

19年 4月 11日	19年 10月 10日
19年 5月 9日	19年 11月 14日
19年 6月 13日	19年 12月 11日
19年 7月 11日	20年 1月 9日
19年 8月 8日	20年 2月 13日
19年 9月 12日	20年 3月 11日

計12回

(医療クオリティ審議委員会 開催状況 平成19年度)

19年 4月 11日	19年10月23日
19年 5月 7日	19年10月30日
19年 5月15日	19年11月20日
19年 5月23日	19年11月27日
19年 5月29日	19年12月 4日
19年 6月12日	19年12月11日
19年 6月19日	19年12月12日
19年 6月26日	19年12月12日
19年 7月10日	19年12月21日
19年 7月17日	19年12月28日
19年 7月18日	20年 1月29日
19年 8月 7日	20年 2月12日
19年 8月21日	20年 2月13日
19年 9月 4日	20年 3月 4日
19年 9月11日	20年 3月11日
19年10月22日	20年 3月25日
	計32回

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年15回
--------------------------	------

・研修の主な内容：

医療安全管理研修会は、平成14年度2回、平成15年度3回、平成16年度2回、平成17年度10回、平成18年度15回、平成19年度16回実施している。

このほか、平成15年度の医療安全管理研修会から、研修会の出席者に参加シールを配布し、出席率の向上を図ることとした。

また、平成16年度から、研修会の欠席者に対して所属のリスクマネージャーが伝達講習を行い、内容確認のためのチェック票の提出を求め、所属内全員に周知徹底を図っている。

平成17年度から、講演をビデオ録画し貸出しするなど、各所属内で医療安全に関する情報の更なる周知徹底を図ることとした。

名称	開催年月日	参加者	内容
オリエンテーション	19年4月 3日	看護部新採用者 計48名	医療安全管理
新RM研修会	19年4月 17日	新任RM 計14名	リスクマネージャーの役割
初任者安全管理研修会	19年4月 25日	看護部を除く新採用・転入者 計92名	1. 医療事故防止の基礎知識 2. 医療事故防止マニュアルについて 3. インシデントレポートシステムについて 4. 院内感染対策マニュアルについて